

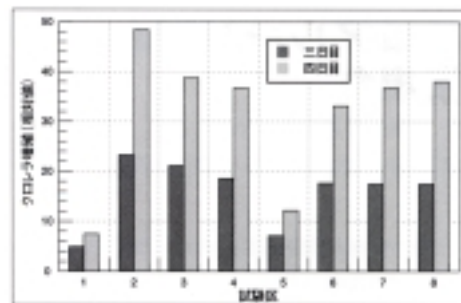
天然物由来の植物成長調整剤

企業 / オーム乳業(株)

研究者 / 若松國光 (福岡女子大学人間環境学部環境学科教授)

乳清は主にチーズ製造の際に生成し、牛乳中の各種有用成分を含有するが、その大半は利用方法が確定していない。また、福岡女子大では長年、環境が植物に与える影響を研究しているが、この度、当社のフレッシュ乳清中に植物成長調整物質が存在することを確認した。この結果をもとに、本コンセプト・モデル化では植物組織や藻類の細胞増殖・成長を制御する機能性物質の分離、同定および作用機構の解明を行い、さらに、製品化に向け機能性物質の大量分離精製方法、利用方法、製品形態、保存性の検討を行う。

本モデル化の結果から、チーズ等の乳製品製造の際に副産物として生成する乳清から植物成長調整剤を製造する可能性が見いだされた。また、本モデル化技術から多種の植物に対する乳清成分の影響についての知見が得られた。



乳清濾過成分のクロレラ増殖効果の例